

や 広報たしる

No. 293

昭和53年2月号

田代町企画室編集

1,600部発行



われら成人

一六一人が新成人式に

町内の新成人者は男子七二人、女子八人ですが、一月三日田代小体育館でこの内の一二五人が出席して、華やかな中にも厳粛に成人式が行なわれました。

成人者を代表して上東マキエさん、辺志切健二君、中村しず子さんが感想と激動の社会を生きぬく決意をのべました。

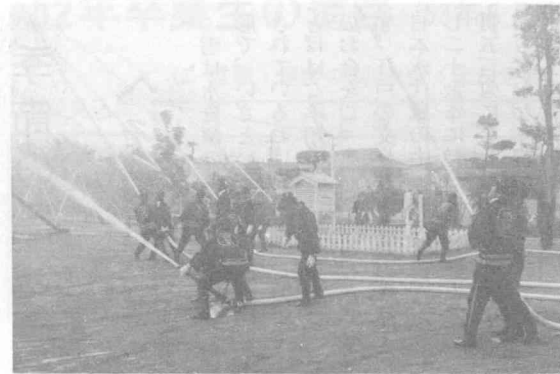
町民一同新成人に期待し、その前途を心から祝福いたします。

2月の行事予定

- 2日(木) 健康相談(役場)
- 5日(日) 郡青年団駅伝大会
- 6日(月) レントゲン(脱漏者)
母子相談(役場)
- 7日(火) 児童手当支給日
- 9日(木) 特設人権相談所開設
健康相談(東大原)
- 10日(金) 田代小学校学習発表会
- 13日(日) 母子相談(東大原)
- 15日(火) 大原小学校学習発表会
- 26日(日) オリエンテーリング大会
- 27日(月) 小組合対抗バレーボール大会
(28日まで)

二月十八日・田代中体育館

町振興大会



消防出初式

火災ゼロ目指し

◎日本消防協会表彰

▽功績章

金子 貢

▽精績章

新村 進

▽勤続章 (三十年)

金子 貢

富尾一己

大浦地光徳

田中光夫

小川典与

◎鹿児島県消防協会表彰

▽功績章

窪園 勲

▽精績章

山添清治

▽勤続三十年

金子 貢

富尾一己

大浦地光徳

田中光夫

小川典与

▽勤続二十年

時吉五男

◎鹿児島県知事表彰

中野光郎

昭和五十三年度消防出初式が、一月六日、田代小学校で行われ、午前九時四十五分、大根田橋を出発、消防連搬車を加え堂々とした市中行進・改正操法によるポンプ操法・放水演習。

団員一人一人が指揮者のもと迅速機敏に動き、わたしたち町民に安心感を与えた、すばらしい出初式でした。

成人式におもむ

宮園 逸美



私は、昨年六月に発足した、田代町文化協会に所属する同好会、グリーンカントリで、テナサックスを吹いています。

鹿屋農校時代、クラブ活動では柔道をやっていただけの私が何故この同好会に入会したかと言いますと、それは私が歌が好きだからです。

同好会に入会の話を持ちかけられたのに、仕事に行く途中のことでした。

ある人が「今度、音楽同好会を結成することになっているから、お前も入れよ」と、私に話をされました。その時は、何も考えず簡単に返事をしてしまいました。むしろ歌も好きだし楽器も聞くより、自分で吹く事に興味をもっています。たったそれだけのことで返事をしてしま

まったのです。

山に着いてから、いろいろなことが頭に浮かんで来て、その日は、そのことだけで一日が過ぎてしまいました。

そのことは、楽器購入の金銭的なこと、小学、中学、高校では、音楽嫌いで、いつも成績が悪く、先生からしかられる事ばかりの私で、楽譜さえも読むことが出来なかったのです。果して、みんなといっしょについてゆけるだろうか、途中でやめてしまうのではと心配がつのるばかりでした。

幾日か経ち、結成式があるという連絡を受けた私は、最終的には、両親に相談し意見を聞くことにしました。

父母共に大賛成で、父の意見は、「若者のないでんやらん」の、ひとことでした。

さっきまでの心配は、嘘のように思うほど、そのひと言が励みになり、私を音楽同好会に入る決心をさせたと言えるでしょう。

結成式も終り、私の楽器はテナサックスと決まりました。練習は週一回となって、練習

をしてみても思ったほど困難ではなく、むしろ楽しくてやりがいがあり、練習の日が待ちどおしくてたまらないぐらいです。

二月十八日(土)、田代町文化祭を目の前に、今一生懸命に頑張っています。

成人式を迎えた今、人間やっでやれないことはない、やれば出来る胸にきざんで、これからの長い人生を歩んで行きたいと思っています。

落合 真由美



「成人式はー」と、人に尋ねられて、

「おかげさまで、やっと今年迎えることが出来ました。よろしく願ひ致します」と嬉しいひとことではあります、少し恥かしいことばのような気がします。

成人とは、大人になったという事なのでしょうが、私にはまだこのことばは早いような気がするからです。

しかし、この嬉しい晴れの日を迎えることが出来たのは、これまで数多くの先輩の皆さまのおかげだと心から「本当にこの日までありがとうございました」と感謝の気持ちで一杯なのです。それは、厳しい実社会の中で、何ひとつとして満足にできなかった私に、優しい言葉をかけ、手を取って教え、御指導下さいました皆さま方への感謝の気持ちは、いつまでも忘れ

てはならないことだと思っています。と同時に又、今日からの自分を改めて考えてみるべき日であるのではないのでしょうか。

曲面にぶつかり、悩み苦しんだことも幾度もありました。そのたびに教えを受け、考えの浅さを痛感し後悔もしましたが、やっと「これでよかった」と私なりに納得し、晴れやかな気分になり、少しは大人になったような……生意気にもそんな思いにひたつた時もありました。

成人式を迎えたことで、谷底へ突き落された淋しいような複雑な気も致しますが、やはりそれは世間が私も一人の社会人として認めて下さったからなのでしょう。細長い竹は節がしっかりと出来ているから、どんな時でも折れないのだ。これまでの過去の出来事をよい経験とし、

竹の節のように一事一事をしっかりと踏段にして私もいつかは一人の先輩として、社会人として皆さま方に呼んでいただけたすようになりたいと思います。

楽な道より険しい道を私の人生の道として自ら選び、目標をめざして、優しさと素直な心をいつまでも忘れずに、大切に生きて行きたいと願っておりますが、まだまだ若輩者ですので今後より御指導と御意見を賜わりますようお願い致します。

緊急電話は119番

ただし、地域集団電話は0119

緊急以外は09942-2-1199

南部消防署がこのたび新庁舎ができ、大根占町城元1,055番地へ移転しました。そのため119番は今まで役場にありましたが、これからは全て、119(0119)をまわせば南部消防署が出来ます。落ちついて、正確に答えましょう。

ご協力ありがとうございます

ごさいます

昭和五十二年

共同募金、歳末たすけあい

共同募金、歳末たすけあい募金ともに、小組合長さん、婦人会長さんに依頼して、町民の皆様方の御理解と御協力により、共同募金 二〇五、六三八円 歳末たすけあい一四九、一一〇円 (大原小学校児童による校内

田代町社会福祉協議会

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の請求について

昭和五十年改正の第二回特別弔慰金(額面二十万円の十年償還)は、昭和五十年三月三十一日までに請求を行わないと時効により消滅します。その為、該当者は早目に請求して下さい。

尚、詳細については役場民生課厚生年金係にお問い合せ下さい。

わが町わが村を豊かにするため 造林をしましょう。

今年も造林をする時期になりました。あなたの山で造林をする場所はありますか。

早目に森林組合に苗木申込みをしてください。

森林組合で優良苗木をあっせんしております。この苗木10アール(1反歩)以上造林しますと補助金がもらえます。

◎ざつ木材やあれた山などに植えますと 10アール(1反歩)当り約13,700~18,000円

◎松くい虫の跡地に植えますと 10アール当り(1反歩)約18,000円

◎「やせ地」に肥料をやり、肥料木をまぜて植えますと 10アール(1反歩)当り約34,900円

◎申込用紙は森林組合にあります。

○役場 ○森林組合

52年卒業生の進路 (53年3月卒業見込み) 状況について

(1) 卒業見込者 (2) 就職・進学別の別(決定・未決定者含む)

	男	女	計
進学	39	1	1
各種・専門学校	6	0	6
就職・進学	0	1	1
就職	33	33	66
計	39	35	74

(3) 就職のうち県内・県外の別 (就職進学を含む)(67名)

	男	女	計
県内	5	8	13
県外	27	25	52
計	32	33	65

	男	女	計
県内	1	1	2
県外	0	0	0
計	1	1	2

(4) 県外就職希望者の地区別内訳(52名)

	男	女	計
関東	2	9	11
東京	9	7	16
関西	9	9	18
その他・九州	7	0	7
計	27	25	52

(5) 職種別内訳 (65名)

	男	女	計		男	女	計
公務員	7	0	7	バスガイド	0	4	4
事務	1	11	12	調理師見習	2	1	3
営業・販売	6	8	14	運輸	1	0	1
現業	15	7	22	計	32	33	65
見習看護婦	0	2	2				

教育だより

南大隅高等学校田代分校

田代分校の近況

十一月十二日(土)・十三日(日)の両日開催されたが、終日、演劇、合唱、バザー、展示などでにぎわった。本年度の異色は、科学部出品の現在の時間、入退場者数、現在の温度などを記録するコンピュータで観衆の目を見張った。

来年度からは、町文化協会の協力などを得て一般の方々の展示や参加をうけ、より多くの参観者を得たいものだと思います。

文化祭の開催



資格等の取得者

- (1) 体育検定
1級 三年 大野広行
2級 男子 十五名
女子 七名
- (2) 第28回県高校美術展
努力賞三年 島淵真也
入選一年 小野誠二
第14回大隅地区高校美術展
奨励賞三年 牧瀬チツ子
一年 小野誠二
- (3) 全商英語検定合格者
2級 三年 佐多むつ子
二年 山下節男

二月・三月の行事予定

- 2月13日(月) 入試登録変更受付
願書受付20日(月)迄
- 2月17日(金) 卒業予餞式
- 2月20日(月) 学年末考査
- 3月6日(月) 学力検査 (国・理・社)
- 3月9日(木) 学力検査 (数・英)
- 3月13日(月) 合格者発表
- 3月14日(火) 卒業式
- 3月20日(月) 終業式
- 3月24日(金)
- 3月25日(土)

季節の話題

へそくり

雪は水資源のへそくりという形で、いざという時に大いに活用されているわけですが、このことばはご承知のように少しずつのお金をこつこつためることで、江戸の文豪井原西鶴の作品「日本永代蔵」の中に「毎年かきみし二十余年に、へそくり金十二貫五百匁になりぬ」とありますから、かなり昔からいわれていることばなのでしょう。

「近頃は胴巻という物仕出し人々銭をそれに入れて腹に結びつけおき、所用ある時とところより数え出して使えば、へそくりの名さえこうむらむ……」と江戸時代の「老人物語」にあるように、おへその所に大切にしまっておいて、用があればそこから使うお金という意味でへそくりと呼ぶとも言われています。

この種の話で有名なのが山内一豊の妻、夫が良い馬を発見しに金がなく買えないとしよげ返っているのを見て、稼入りの時に持参し、そのままへそくりしておいた大金を出し、武士にと

って馬は大切なもの、このお金で買いたいしとシリをたたいたとか……。へそくるのはとかく女性と思われるかもしれませんが、近頃は弱くなって男性もへそくるとか。

正々堂々と貯金するにしろ、ひそかにためるにしろ、貯金するのは本当に必要なものを買うののために役立つものです。とかくためるということは使うということの反対の行為なのです。が、実は使うためにためるのが貯金本来の姿です。特に最近のように不況の時代は「高度成長時代のように遊ばず、昔のように働くこと、金を使わず耐乏生活すること、利息のついた金を借りず、ぜいたくをやめて家庭や企業を守れ」とは多くの経済学者が述べているところなのです。

ところで人間は感情の動物、春や夏のように暖かくなつて気分も開放的な時、お金を使いたくなるのが自然です。そんな時コッコツ金をためるのは苦痛でしょうが、寒くて縮こまつて生活している一二月は、お金をへそくるにも気分的にも合った季節といえないでしょうか。いや何もお金に限りません。知識のへそくり、健康のへそくり、いろいろあると思います。

人口のうごき

	基本台帳人口	推計人口
1月1日現在		
男	2,339	2,172
女	2,568	2,474
計	4,907	4,646
世帯数	1,501	1,456

植物がそうです。暑い夏にじゅうぶん体力を補い、その余勢で秋に実を成らした後は消費を節約し、新芽などを出さず活力を蓄え、そしてむだを省くために葉も落とし、身軽になって冬を越し春一斉に新芽を出します。冬の夜長に、たまにはじっくり基礎的な本を読みなおしたり、お年寄りなら夜ふかしをしないで早寝をし、朝もゆっくり起きて……睡眠をじゅうぶんにとるなど、寒い今こそへそくりしやすいムード、蓄積に向けた季節であるといえましょう。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



文化祭

2月18日 午後12時30分

田代小体育館

- ※ 文化団体(12グループ)による芸能発表大会
(所要時間 2時間10分)
- ※ 生花、手芸、園芸、書道、作文、美術、標本等の展示発表会

振興大会

2月18日 午前10時

田代小体育館

- ※ 各種表彰式 産業経済、教育文化、保健衛生、生活環境、納税、地方自治など
- ※ 講演会「村づくりについて」、
講師 県農村振興対策室長 黒木農夫太郎

各種大会のお知らせ

◇オリエンテーリング大会

期日

昭和53年2月26日(日) 雨天

の場合は3月5日(日)

12時30分～16時30分

◇小組合対抗男子

バレーボール大会

期日

昭和53年2月27日(月)～28日

(火) 18～22時

くわしくは教育委員会へ

与論町を訪ねて(青年県内研修)



青年の県外、県内の研修を毎年実施していますが、本年は県内研修として、はるか洋上に浮ぶ、そして田代町と姉妹町である与論町へ。

研修生として、野本輝男、吉田勝、橋口達郎、白桃茂、浪瀬亮祐、小倉美空、田方順子、引率者、福留俊の計八名。

一月十四日(土)午後六時、エメラルドあまみで、波静かな海を一路南の島と論島へ。

一月十五日(日)午後三時、茶花

港着(下船ハシケにゆられて)港では、与論町の青年団役員に迎えられました。はじめて見る与論島は、すばらしい海の色、赤い屋根、青い屋根、景色もまた格別でした。

一月十六日(月)午前十時、社会教育課の職員、町青年団役員の場合内(マイクパス)で、与論城跡、琴平神社、民具館、大金久海岸(モクマオ林、星の砂)ヨロン焼金元、ユンヌ楽園、製糖工場を見学しました。

公民館の庭に、クロガネモチ山モモの木を両町の青年団員の手で、心をこめて記念植樹をしました。これこそまさに「青年の樹」が、すくすくと大きく育つことでしょう。

午後三時より茶花小学校体育館にて、親善バレーボールをおこないい、二対一で惜敗しました。

午後六時より、与論町長、助役、教育長さん、そして町青年団役員、商工青年部役員三十五名の方々と意見交換(青年団活動の現状とあり方など)盛大なる歓迎会をうけ、若者同志の話はハズミツ

きることにはなかった。

一月十七日(月)午前中は自由時間、昨夜の交換会で仲良しになった青年同志が、町内を案内してくださり、会話の中に友好を深めました。

午後四時五十分、助役さん社会教育課職員、町青年団役員の見送りをうけ、与論空港を飛び立ち鹿児島空港へ。

人情豊かな与論町の方々「ありがとうございました。」青年団役員の方とお別れするときは、やはり涙がポロリ……。

